地域包括ケアの地区展開　令和８年度　等々力　地区アセスメント

人口

面積（k㎡）	人口（人）	人口密度（人/k㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率(%)	年少人口（人）	年少人口率(%)	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数				高齢者がいる		介護保険		障害者手帳保持者		障害サービス受給者	
										高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	世帯率(%)	内高齢単身・高のみ世帯率	認定者数（人）	認定率(%)	身体障害者手帳	愛の手帳	自立支援給付	障害児通所給付
2.882	40,481	14,046	8,773	21.67%	4,793	11.84%	20,691	1.96	6,410	2,868	1,795	1,747	30.98%	22.54%	1,680	19.15%	738	170	214	140

傾向

人口、人口密度、高齢者人口、高齢者化率、世帯数、高齢者がいる世帯、高齢単身者世帯数、高齢者のみ世帯数、その他高齢者がいる世帯、高齢者がいる世帯率、障害者手帳の保持者、障害児通所給付については、年々増加している。
年少人口、年少人口率については、年々減少している。
世帯数は増加しているが、平均世帯人数は、年々微減している。令和8年については、令和7年から横ばいの1.96人となっている。
面積は全体の6位、人口総数は7位、人口密度は23位となっている。
高齢化比率、年少人口率ともに、全体の8位となっている。

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数					社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数		主な活動団体とその取組内容
			サロン	子育てサロン	ミニデイ								
9	8,083	22	18	3	1		7	18	97	1	4		【町会・自治会】 ：協和会／等々力和敬会／等々力三和会／等々力六丁目町会／尾山台クラブ／尾山台灯交会／尾山台自治会／尾山台３丁目町会／玉堤町会 【等々力地区各種団体協議会】 地区の各種団体相互の連絡調整と会員相互の親睦を図ることを目的とし昭和48年発足の等々力地区独自の協議会。町会、商店街・商店会、身近なまちづくり推進協議会、青少年地区委員会、日赤奉仕団、民生・児童委員協議会、消防団、区民防災会議、高齢者クラブ等で組織。 【等々力の歴史を語り継ぐ会】 古き良き等々力の歴史や伝統行事を後世に引き継いでいくため、平成22年に結成。冊子の編集・発行や年1回さぎ草展と合わせたて写真展を開催。 【等々力農振会】 等々力の農家が栽培技術の研究や農家相互の親睦を図ることを目的として発足し、玉川総合支所コミュニティ広場にて、年2回朝市を開催。日赤バザーやごみ減主催のバザーを同日開催。 【等々力渓谷保存会】 等々力渓谷を良好な環境のもとに保存することを目的として、昭和53年に設立。たけのこ掘・自然観察会・みかん狩り体験等、親子で参加できる人気の事業を実施。 【ミニデイ：1団体、サロン：18団体、子育てサロン：3団体】 お茶とおしゃべりを基本に体操や手芸など団体ごとの特色を出して活動。退職後男性の社会参加のきっかづくりとして男性のみの体操サロン。 【高齢者クラブ：3団体】 等々力・尾山台・玉堤地区会館の各拠点で地域に根差して活動。リーダーの高齢化、担い手不足が課題。 【東深沢・等々力コミュニティ】

生活支援

地域密着型サービス							ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム		障害者・児　通所系・共同生活援助等
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム						うち、特定施設入居者生活介護	
0	0	0	1	0	1	0	2	2	0	0	9	7	［障害児通所支援施設］すずらんこどもサポートクラブ（尾山台2）／ファーストクラスルーム自由が丘（等々力6）／てとる尾山台（尾山台3）／エルボヤージュ世田谷尾山台（尾山台３） ［就労移行支援、就労継続支援Ｂ型］区立岡本福祉作業ホーム玉堤分場（玉堤2） ［就労継続支援Ａ型］しごとも（等々力2） ［就労継続支援Ｂ型］区立玉川福祉作業所等々力分場（等々力2）／社会就労センターパイ焼き窯（等々力2）／パイ焼き茶房（等々力2）／パイ焼き茶房分室（尾山台3） ［生活介護］区立九品仏生活実習所(奥沢7）／玉堤つどいの家（玉堤2） ［共同生活援助］はるの邑１（等々力）／はるの邑２（尾山台）／等々力ホーム（等々力）／電Gホーム（等々力）

障害相談支援機関・相談支援事業所

地域障害者相談支援センターぽーとたまがわ（中町4-6）／はるの相談室（主たる対象者は知的障害者、精神障害者：等々力2-36）

医療

医療機関、訪問看護等

診療所３６か所、歯科13か所、薬局10件、訪問看護3か所

子ども・教育	児童館	等々力児童館（等々力3-25）
	その他、児童施設	区立ほっとスクール尾山台（尾山台3-19尾山台地域体育館2階）
	おでかけひろば	おでかけひろば　はぁと（等々力4-19区立等々力中央保育園内）／玉堤一丁目おでかけひろば（玉堤1-8）
	保育施設	等々力中央保育園（区立：等々力4-19）／おひさま保育園（私立：尾山台3-33）／尾山台保育園（私立：尾山台1-1）／尾山台みどり保育園（私立：尾山台3-29）／Gakkenほいくえん等々力（私立：等々力4-2）／グリーンヒル奥沢保育園分園グリーンバレー等々力（私立：等々力2-33）／コンビプラザ等々力保育園（私立：等々力2-32）／世田谷仁慈保幼園（私立：玉堤2-13）／Cha Cha Children Todoroki（私立：等々力7-7）／等々力保育園（私立：等々力5-22）／等々力保育園分園このは（私立：等々力6-4）／ナオミ保育園（私立：等々力4-13）／わらべうた等々力保育園（私立：等々力3-27）／等々力ほしにねがいを（小規模保育事業：等々力4-5）／ベビールーム等々力（認証保育所：等々力1-19）／ナオミ保育園病後児保育室バンビ（病児・病後児保育室：等々力4-13）
	幼稚園	尾山台ナザレン幼稚園（私立：尾山台2-5）／善隣幼稚園（私立：等々力2-6）
	地区内に所在する新ＢＯＰ・または関係のある新ＢＯＰ	区立尾山台小学校新BOP（尾山台3-11）／区立等々力小学校新BOP（等々力7-26）／区立玉堤小学校新BOP（玉堤2-11）／区立玉川小学校新BOP（中町2-29）／区立東深沢小学校新BOP（深沢3-7）／区立九品仏小学校新BOP（奥沢8-12）
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	区立尾山台小学校（尾山台3-11）／区立等々力小学校（等々力7-26）／区立玉堤小学校（玉堤2-11）／区立玉川小学校（中町2-29）／区立東深沢小学校（深沢3-7）／区立九品仏小学校（奥沢8-12）
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	区立八幡中学校（等々力6-4）／区立尾山台中学校（尾山台3-27）／区立玉川中学校（中町4-21）／区立東深沢中学校（深沢4-18）／東京都市大学等々力中学校（等々力8-10）
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	東京都市大学等々力高校（等々力8-10）／産業能率大学自由が丘キャンパス（等々力6-39）／自由が丘産能短期大学（通信制：等々力6-39）／東京都市大学世田谷キャンパス（玉堤1-28）
	子どもに関するその他の事項	
	おやまちカレー食堂（子ども食堂：等々力2-18）／子ども食堂ゆうゆう（子ども食堂：等々力3-19）／等々力ピノキオ食堂（子ども食堂：等々力4-5）／ばあば食堂（子ども食堂：玉堤2-8）／東京都市大学子育て支援センターぴっぴ（玉堤1-28）	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	ちょっと一息きまま茶屋（多世代交流の場：等々力3-4活動フロアー）／縁側カフェ（等々力２－１８）／玉堤リバーひろば（その他：玉堤1-12地区会館）	
公共施設	図書舘	区立尾山台図書館（等々力2-17）
	地区会館、区民集会所など	玉川区民会館せせらぎホール（等々力3-4）／尾山台地区会館（等々力2-17）／等々力地区会館（等々力3-25）／玉堤地区会館（玉堤1-12）／尾山台地域体育館（尾山台3-19）／等々力ふれあいルーム（等々力2-33）／等々力まちづくりセンター活動フロアー（等々力3-4）／多摩川玉堤ひろば（玉堤1-5）

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	等々力渓谷公園（等々力1-22、2-37～38）／等々力一丁目公園（等々力1-1）／等々力五丁目はなみずき公園（等々力5-20）／等々力六丁目公園（等々力6-15）／等々力七丁目公園（等々力7-22）／等々力八丁目公園（等々力8-18）／尾山台公園（尾山台3-23）／多摩川玉川公園（玉堤１丁目先）／多摩川遊園（玉堤2-1）／等々力六丁目広場（等々力6-34）／等々力2-31遊び場（等々力2-31）／等々力七丁目うえきば市民緑地（等々力7-23）／ねこじゃらし公園（奥沢7-46）／狐塚古墳緑地（尾山台2-17）

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

早くから区画整理が行われており、全般的には一戸建ての住宅が多く、閑静な住宅街である。目黒通りや環状八号線など幹線道路沿いには高いマンションが増加している。多摩川、谷沢川沿いの公園や玉川神社、満願寺、等々力不動尊、宇佐神社、農地等に緑が多く残っている。大井町線沿いが盆地となっており、南は国分寺崖線で多摩川に向かって傾斜地となっている。
令和5年7月に発生した等々力渓谷公園内の倒木により、公園の大部分の利用を中止していた。危険木の除去や樹林地再生等の取組みを行い、安全確保の目途が立ったことから、令和8年3月に利用を再開した。
盆地や起伏による低い土地もあることから、令和7年7月・9月に発生した集中豪雨による被害のように、半地下や地下の住宅・車庫等が、浸水被害を受ける危険性がある。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

鉄道は、東急大井町線が管内の中央を東西に走り、等々力駅（等々力3-2)、尾山台駅（尾山台3-34)がある。道路は、環状八号線と目黒通りが管内で交差し、多摩川沿いを多摩堤通り、目黒通りから北に駒沢公園通り、用賀中町通りがある。路線バスは、北部に目黒⇔二子玉川、中央部に田園調布⇔千歳船橋、南部に多摩川⇔二子玉川と東西の路線があり、等々力⇔渋谷、成城、梅ヶ丘の路線は管内の北西部を走っている。また、玉堤循環（たまリバーバス）が玉堤と東急大井町線を繋いでいる。目黒通りでは多摩川にかかる等々力大橋の整備事業が進められている。
管内には、通学路に指定されている踏切や開かずの踏切などを含んだ５か所の踏切があり、鉄道による街の分断や交通渋滞の発生、脆弱な鉄道施設などの長年の課題がある。まちの課題解決に向け、町会や商店街など２７の地縁団体で構成された「大井町線街づくり連絡会」が安全で快適な街を構築して”住んでみたい街づくり”を推進することを目的として、平成１６年から活動しており、現在は、勉強会や現場視察、鉄道事業者との意見交換会などに取り組んでいる。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

東急大井町線等々力駅周辺と尾山台駅周辺及び尾山台駅から環状八号線までの道路に商店、金融機関が集中している。金融機関は地域行事に協力し、地区内の４商店街・商店会では、身近なまちづくり推進事業の花の植え替えやイベントの実施等、いずれも地域に密着している。
国分寺崖線沿いは急勾配の坂が多いため、買い物などの外出に不便に感じている高齢者等もいる。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
「郷土愛あふれる活力あるまちへ～みずと緑と伝統を核として～」 緑や自然、伝統を尊び継承していく活動を引き続き推進するとともに、幅広い年代の方々が協働して老若男女を対象とする多様なまちづくり事業を展開し、郷土愛にあふれ活力あるまちを持続させていく土台をつくります。

課題、取組みの方向性
1　誰もが安心して住み続けられるまちづくり 子どもの居場所づくりや高齢者の交流促進、フレイル予防に取り組む。 ⇒地域で活動するグループ等とのネットワークをさらに強化し、地域の方々の参加と協働を得て活動を広げていく。
2　安全で災害に強いまちづくり 令和元年台風第19号を教訓として水害等から区民の生命、財産を守る。 ⇒水害時に身を守る手段の周知や、避難が困難な障害者・高齢者等（避難行動要支援者）が安全に避難できるよう、早めの避難の呼びかけを行っていく とともに区民、団体、事業者等との交流を促進し、ともに支えあえる関係づくりの構築をめざす。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	地区の障害者支援、高齢者支援、子育て支援の輪を拡げる取組みを深めるため、ボランティアを必要とする情報をとりまとめ、お互いの希望に沿ったマッチングの工夫ができるよう検討
②	玉川地域内に所在する福祉の拠点と住民をつなぐ機会を創出するため、四者連携に「ぽーとたまがわ」を加えた五者が実行委員会に入り「玉川福祉フェスティバル」を実施
③	高齢者の活動場所・居場所・交流する機会・運動不足による身体機能の低下をさせない場所として、ラジオ体操を行います。今後は多世代の方へ呼びかけし、高齢者クラブ、介護施設、障害者施設、保育園など多世代の多種多様な方が継続的に参加できる活動をめざす
④	多様な多世代の方が気軽に立ち寄り、ちょっとひと息つける場として「きまま茶屋」を月1回開催する。ボランティアの方の企画による催し等も実施することで、ボランティアの方々が主体的に活動できる機会を持つ
⑤	誰もが安心して、住み慣れた地域で暮らしていかれるよう、緩やかな見守りのポイントをご覧いただける「等々力地区見守りパンフレット」を地域の方に向け配布
⑥	地域の方にご参加いただける「地域連携事業」や五者連携の取り組み等をご紹介する「とどさん通信」（等々力地区五者連携通信）を年１回発行し、回覧や、まちづくりセンター・地域社会福祉協議会事務所・ふれあいルームの窓口、サロンで配布
⑦	地区の状況にあわせた防災情報や災害への備え等を知っていただくことができるよう「等々力防災Watch」を年２回発行し、回覧や防災塾や避難所運営訓練の際に配布